

# 建設防災 ボランティアニュース 第 84 号

## 目次

- ・ 定期総会
- ・ リーダー・サブリーダー会議
- ・ 砂防カルチャースクールに初参加
- ・ 参集訓練報告(南東建班)
- ・ 公園協会からの情報提供
- ・ 新入会員の紹介

## 令和 6 年度定期総会開催

新型コロナの影響もほぼなくなり、例年どおりの定期総会が5月15日(水)に開催されました。

総会を高橋理事の司会のもと始まりました。

### 〔山口会長挨拶〕

最初に山口会長より来賓の方への日頃の支援に対して御礼の挨拶があり、また、今年は能登地方では衝撃的な年明けとなり倒壊家屋、焼失家屋も多く被災者へのお見舞いが述べられました。

能登地方では、断水、道路の寸断、支援物資の停滞が続いており、首都圏での道路の重要性を再認識させられました。阪神淡路大震災を契機に設立された協会の活動も四半世紀がたち安定

してきた。しかし、期待に応えるためには様々な課題に対し関係機関と協議し着実に進めて行きたいとの挨拶がありました。



挨拶する山口会長

引き続き、ご来賓の方より挨拶を頂きました。

### 〔花井建設局長〕

ボランティア協会の皆さんには、日頃から防災訓練、徒歩点検、河川愛護月間行事、勝どき橋ミニツアー、橋と土木展等への協力に感謝します。

能登半島地震では都市基盤の重要性が再認識された。一日も早い復旧、復興を望んでいる。建設局としても5月から支援を開始し、総務省から



の要請に基づき市町村へ2名派遣している。

東京では今後30年間で7割の発生確率で直下型地震の発生が想定されている。いざという際にも、

「日頃考えていること以外出来ない」知事も「備えよ常に」と言っている。

都では「8方向作戦」を国、警察等と意見交換して準備している。協会にも局事業の一翼を担って頂いており、先輩方の知見を活かしていきたい。

### 〔三浦道路整備保全公社理事長〕

ボランティア協会の皆様には日頃より当公社の事業にご協力を頂いており、特に公益還元事業という形で橋の資料館や勝どき橋の橋脚内の見学ツアーにご尽力され感謝致します。



見学者数も令和4年の6,700名が令和5年8,290名と着実に増えております。

公社のトピックスとして新宿西口広場の新宿駅直近地区土地区画整理事業関連の状況や八重洲等の駐車場事業、道路事業関係では特定整備路線の工事を受託している。

### 〔矢岡公園協会理事長〕

本日は防災ボランティア協会総会開催おめでとうございます。また、日頃より公園協会に事業にご協力頂き感謝いたします。



今年は能登半島地震が元日の夕方になり、暗い年明けとなり、それ以降も日本各地で様々な地震が発生しており、南海トラフ地震などいつ起きてもおかしくない状況にある。

公園協会では都の防災公園 21 箇所をお預かりしており、発災時には避難場所また活動拠点にもなる。2 月には国の東京臨海広域防災公園を加えて 22 箇所を管理している。

水上バスは外国人に好評を得ている。安らぎの機会を提供するとともに、いざ発災時には帰宅困難者や支援物資の運搬を担っており身の引きしまる思いです。総合防災部長の経験から、「普段出来ないことは本番では出来ない」との思いがあり様々な防災訓練を実施している。

今後も防災ボランティア協会の皆様と連携して防災力の向上に務めるとともに災害時に備えた皆様の支援をしっかりやっていきたい。

## 議 事 の 概 要

ご来賓退席後、高橋理事の司会進行で議事に移りました。議長には藤田進さんが議長に選任され、令和 5 年度事業報告を新井副会長が、令和 5 年度収支決算報告を細川理事が説明し、萩原監事の会計監査報告を受けて、会員の拍手により承認されました。

次に令和 6 年度の事業計画（案）、収支予算（案）について、それぞれ新井副会長、細川理事から説明があり、拍手による賛成多数で承認されました。

また今年度は役員の改選期ではありませんが、矢野副会長の退任と後任に横井理事の選任されたこと、野村監事の退任と新井副会長が新監事に選任されたことが山口会長より報告されました。

続いて事務局書記が紹介されました、今年度

も公園協会の久間亜紀さん、道路整備保全公社の幡谷敦子さん、川久保和子さんに担当して頂きます。よろしくお願いいたします。



川久保さん 久間さん 幡谷さん

議事終了後、協会活動に貢献されてきた以下の方々（敬称略）に、山口会長から感謝状が贈呈され、また新入会員の紹介等がありました。

## ありがとうございました！

### ● 年間 10 回以上活動会員（以下敬称略）

- [22 回] 多澤秀信、若尾啓介 [21 回] 石坂弘司
- [16 回] 清水幸一、丸山勝彦
- [14 回] 齋藤俊之、古川俊明
- [12 回] 荒井一郎、加藤直宣、杉橋要、望月裕
- [11 回] 奥秋聡克、東野寛
- [10 回] 岡村浩志、小林一浩

### ● リーダー交代者（退任）

- 四建班 荒井一郎、加藤昌宏
- 西建班 東野寛
- 南東建班 柴田賢次
- 東部公園班 上杉俊和

### ● 永年会員表彰

- ・10 年継続会員 柿塚至、加藤昌宏、柴田賢次、清水六郎、山崎二三四
- ・15 年 岩井壮三
- ・20 年 新井敏男（浦安）、加藤基雄
- ・25 年 小山弘光、丸山勝彦

### ● 本部役員退任者

矢野末義（副会長）、野村隆（監事）

## よろしくお願いします！

- 新入会員 永井伸芳さん、岡上樹さん  
藤田政彦さん

## ～ 懇 親 会 ～



懇親会は、横井副会長の進行で、丸山さんの乾杯から始まり、大いに盛り上がりました。近況や昔話に花が咲き、あちこちで談笑の輪を咲かせて楽しい時を過ごしました。参加

された会員の皆様、ありがとうございました。



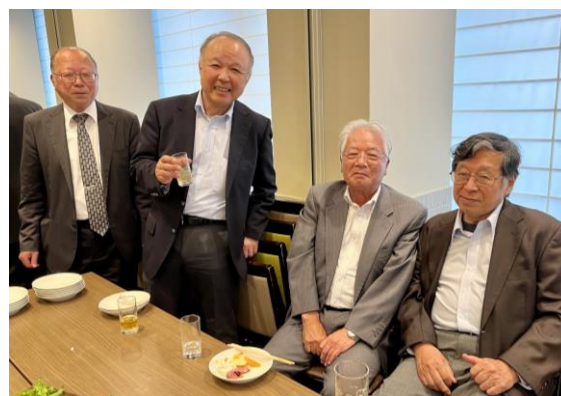
海老澤さん 加藤さん 若尾さん 柴田さん 佐藤さん 小林さん



久保田さん 古川さん 東さん 幡谷さん 杉橋さん



中村さん 大内さん 吉原さん 片岡さん 江澤さん 地引さん



荒井さん 川合さん 柿塚さん 杉浦さん



細川さん 丹野さん 新井さん 清水さん

山口会長 島津さん 多澤さん 林さん



細岡さん 高橋さん 岡上さん

大八木さん 東野さん 上杉さん



加藤さん 村尾さん 杉本さん 田所さん

## 定期総会に参加して

令和6年度の総会は、新型コロナウイルスの5類への移行後1年を経過したこともあり、多くの方々が参加し、盛況に行われました。

令和5年度事業報告からも様々な活動が活発に行われ、協会としての役割を十分に果たしたのではないかと考えます。

これらの活動のうち、道路施設等点検や勝どき橋ミニツアー案内などに私自身もある程度は参加できたのではないかなと思っていたところ、今回、活動参加に対して感謝状をいただくことができ、大いに励みになりました。しかし、私の参加が10回程度なのに対して、20回を超える方もおり、まだまだ頑張らなければとも思ったところです。

今年度も令和6年度事業計画に掲げられている様々な活動について、役員・リーダー等との連携のもと、心身の健康に十分に留意しつつ、積極的に参加していきたいと思います。

また、懇親会には、総会出席者に加えてさらに多くの方々が参加され、十分楽しむとともに、充実した意見交換ができたことなど、大変良かったと思いました。

五建班 加藤直宣

## 懇親会に参加して

恒例の懇親会につきましては、総会終了後、新宿三井ビル内のKIZENBOUに場所を移し、60名を超える参加者で盛大に行われました。

昨年度の懇親会は、新型コロナウイルスの5類移行後間もない時期ということもあり、どこか、ぎこちなさも感じましたが、今年はコロナ前の雰囲気になっさり戻り、晴れやかな気分の開催となりました。

横井副会長の司会進行のもと、総会で活動歴25年の表彰を受けられた丸山様の乾杯の御発声で会が始まりました。しばしの歓談のあと、今回でリーダー、副リーダーを降りられた方々

から、また新たなリーダー、副リーダーの方々から一言ずつお言葉を頂戴しました。一方で、この頃になると、参加者も皆ほろ酔い状態になり、テーブルごとに別途の盛り上がりを見せていました。そんなこんなで、あっという間に予定の時刻となり、最後は、前副会長の新井様の三本締めで盛会のうちに、また名残惜しく宴は終了しました。

二建班 高橋宏彰

## リーダー・サブリーダー会議開催

6月4日(火)14時から道路整備保全公社17階の会議室で、各事務所班リーダー・サブリーダーと理事の合同会が開催され、担当理事から今年度の活動についての報告とお願い、質疑応答が行われました。

今年度はリーダーが4名、サブリーダーも4名が新メンバーとなり、特に五建班にサブリーダーが1名増員されました。合同会終了後、本庁各部には理事が、各事務所にはリーダー・サブリーダーが今年度の事業計画を届けました。

以下に合同会の内容をまとめました。

1. 新規入会会員は3名、総数156名
2. 住所変更及び参集事務所の変更
3. 新たにリーダー・サブリーダーになる皆さんに自己紹介して頂きました。
4. 各行事の予定等について担当理事から説明しました。
  - 1) 道路施設等点検については、年2回夏と冬に期間を決めて行ってきましたが今年度から事務所の実情を踏まえ通年(6～2月)で点検回数も任意に決められるようになり、現在細部を事務所と詰めている段階なので決まり次第文書で通知する(道路管理部保全課)とのことです。
  - 2) 総合防災訓練は、板橋区で行う。  
日程は令和6年8月30日(金)～9月1日(日)、場所は東京都立城北中央公園他、

四建班と東部公園班に参加要請があると思われしますので、宜しくお願いします。

- 3) 河川愛護月間行事は、7月6日(土)の「環七地下の巨大トンネルを体験」から始まり、「わくわく川清掃&川あそび」「夏休み多摩川教室」「川のパネル展」「川を歩こうー多摩川・奥多摩」「川を歩こうー旧中川・隅田川・石神井川」の8つの行事が10月まで開催される予定。各事務所との調整をお願いします。

5. 活動報告について

活動報告は、各行事毎に3名の理事で担当するので送付先を注意して下さい。

6. 緊急連絡表の作成について

作成後速やかに担当理事に送付願います。

7. 事業計画書の配布について説明

8. ボランティア保険について説明

ボランティア保険のパンフレットで説明  
特に熱中症も補償対象になります。

担当理事 鈴木秀一

**砂防ボランティアが防災カルチャースクールに初参加  
~~~100 年前の砂防えん堤群 奥多摩町  
栃久保沢を訪ねる~~~**

4月13日(土)、砂防ボランティア4名(敬称略)杉浦浩、根津和近、丹野修、高橋紀男は(NPO法人)防災情報研究所が主催する「防災カルチャースクール」に初参加した。この「防災カルチャースクール」は防災情報研究所と全国治水砂防協会が防災に関する周知啓発活動として全国で開催しているもので、今回の見学場所は、奥多摩町の栃久保沢に現存する砂防えん堤群である。

この施設は大正12年(1923)9月1日に発生した関東大震災において、神奈川、山梨、東京府の多くの山間地で土砂崩壊が発生し、荒廃した山地や溪流の復旧を目的に内務省が実施した直轄砂防工事の一か所であります。大正13年から昭和12年まで施工され、完了後約90年を経た砂防えん堤は、現在も建設当時の姿で砂防効果を発揮しております。参加者の多くが、100年前

の技術力と苦勞を偲ばれ、現在の自治体に正式に引き継がれていない隠れた土木施設が全国に無数にあり、日本の強靱化の役割を沈黙しながら果たしていることに感慨深いものを覚えました。

砂防講習会担当理事 高橋紀男

**皆さん知っていますか！**

**都内に現存する約100年前の砂防堰堤を！**

●概説

この堰堤は、JR青梅線奥多摩駅から徒歩15分ほどの、「子の神沢(ネノカミサワ)」に現存する砂防堰堤です。大正12年(1923年)9月1日に発生した関東大震災において神奈川県、山梨県、東京都(当時東京府)の山間地では土砂崩壊が多数発生しました。このため、震災の翌年の大正13年(1924年)から相模川ほか4河川(酒匂川、花水川、早川、多摩川)流域で、荒廃した山地や溪流の復旧を目的に、内務省直轄砂防事業が行われました。

このうち多摩川流域の「子の神沢」には6基の砂防堰堤が集中していることから、「100年前の砂防堰堤見学会」令和6年4月13日(土)【特定非営利活動法人防災情報研究所】(主催)が開催され東京都河川部3名と東京都建設防災ボラ4名が参加しましたので報告します。

●山地崩壊と施設規模

「震災に因る山地崩壊は、他の4河川に比し遥かに軽きも山地至る所に亀裂があり、将来益々崩壊面積の増大する処あり、殊に東京市水道に重大な関係がある」(内務省直轄工事年報：大正13年度版)。砂防施設は、崩壊土砂の流出防止と溪岸浸食防止を目的に、砂防堰堤群として6基を計画し、堰堤規模は高さ6~7m、堤長約19m~32m、構造は粗石積コンクリート造を施工しました。：見学会資料引用

## ●先達の技術力とパワー

国土を保全し国民の生命と財産を守るのは、100年前も同じです。震災混乱期に直営で実施した先達の技術力、遂行力には敬服です。砂防堰堤を設計図や現地で見ると、堰堤の水通し断面や表法勾配などは、今の設計にも継承されています。また、現地発生の石材を使用した粗石積の有効活用は言わずもがな。これらの堰堤群は自然環境に調和し、現在も溪岸浸食防止の効果を発揮しています。

## ●砂防系の方は健脚ぞろい



参加者30名の大部分は砂防系OBの方々に、さすがに健脚ぞろいの元気な皆様。

昼食会では、現役時代の砂防談義で盛り上がりました。最後に、運営の事務局様のご尽力に感謝します。

西建班 根津和近



入溪前の概説



日向薙堰堤（第5号）



防災ボラ前列右から高橋氏、根津、  
二列右から丹野氏、杉浦氏、後列河川部職員

## **南東建・参集訓練結果報告**

3月4日の参集訓練は、当初予定の2月26日と打って変わり、朝から晴天の中挙行された。当日早出グループの防災ボランティア3名(以下敬称略。岡村、若尾、柴田)は、参集後所の本部室に入り、参加者名簿に記帳し、総務班・道路班・河川班に分かれ、9時から訓練に入りました。10時15分からは通常出勤グループの防災ボランティア5名(以下敬称略。武内、織田、杉本、矢内、丸岡)も加わりました。

具体訓練では、9時15分、町田街道原町田の福祉会館前交差点付近での電柱倒壊による通行不能が警察から一報されました。作戦班から出動指示が応急復旧班に出され9時20分現地到着した。MCA無線により被害状況が報告され、関係啓開業者に作業指示が出されました。またその他の被害場所からも各啓開業者から被災情報が入ってきました。

ブラインド訓練として、9時40分頃、局総務部企画課から町田市民病院前交差点付近における沿道建物の倒壊による通行不能と放置車両の情報提供が入りました。作戦班から応急対策班に現地確認の指示が出され、車線確保に向けた業者指示と、その旨を局本部に報告しました。

河川も境川の護岸損壊や大栗川付近の電柱倒壊などの被災情報が入り、現地確認と被害状況の報告がMCA無線等の機器によりなされました。

10時に廣瀬本部長から園尾本部長に交代され、同時に作戦班から定時報告があり、15分に早出

グループから通常グループに引継ぎがなされました。また 10 時 30 分頃、芹が谷公園の斜面崩壊と土砂流出で、地滑り発生の恐れがあるとの連絡が警察からありました。直ちに作戦班から応急対策班に出動指示が出され、現場到着後の応急対策班から現場状況報告と点検表とが送信されましたが、機器の不調で一部情報が旨く繋がらないことも体験できました。その後回復。

11 時 15 分頃から中島都技監から訓練講評が有りました。「参加者への感謝慰労の言葉と、日頃からの都民の命と財産を守る道路、河川、公園の整備、管理をしている職員は、今後も想像力を発揮して各施設をどう守っていくかを考えていく必要がある。」等の講評でした。その後園尾所長から「参集訓練の重要性を再認識した。また夜間の発生等を含め、想像力をもって臨戦態勢で臨む必要がある。」旨の講評で、訓練終了となりました。

終了後、参加ボランティア 8 名は園尾所長を囲んで記念撮影をし、帰路につきましたが、いつもの場所では有志により参集訓練を肴に昼食懇親会を行い、英気を養いました。ご参加いただいた皆様お疲れ様でした。

南東建班 柴田賢次

## ＜ご縁のある公園協会から 寄稿していただきました＞

河川愛護月間行事の一つである「隅田川マルシェ」、「隅田川オープンテラス」の情報を提供して頂きました。立場を替え行事を楽しんでみては如何でしょう。

## 「そうだ 隅田川テラス行こう」

最近隅田川テラスにいらしたことがありますか。現在隅田川の両岸約 4.7 km のうち約 3.6 km の区間でテラスが利用できるようになっています。スーパー堤防により広々とした景観が生み出され、月島川、大島川に続きこの 4 月には豎川水門テラス連絡橋が解放され連続して歩けるようになりました。植栽や花壇も増えて夜間照明も整備され、多くの方が散歩やランニングを楽しむなど、大都会東京の

川辺を日々の生活の中で楽しむ環境が着々と整いつつあります。

公園協会では、もっと川に親しんでいただきたいと越中島防災船着場周辺の隅田川テラスでオープンテラスを開催しています。テーブルやイス、キッチンカーやミニマルシェの出店、企業や団体、大学主催のワークショップなど、川風に吹かれてゆっくりと過ごすことのできる時間を提供し、昨年 9 月から 10 月にかけて 8,000 名を超える方々が来場されました（集まれ東京の水辺 HP 参考）。

お勧めは隅田川を臨むくつろぎの座席。転落防止柵を利用して手軽に使えるポータブル水辺カウンター「mizube bar」がとってもおしゃれ。ここで飲むビールは最高の味わいです。のんびり船を眺めたり、芝生シートに横になって空を見上げたり、ハンモックに揺られてみたり。両国テラスなどで開かれている隅田川マルシェでは、お菓子や雑貨の店に混じって公園協会から「すみだがわミニ水族館」を出店。隅田川に生息する生物の観察



やハゼ釣りなどを体験していただいています。

現在、浅草より上流のテラスでの新たな企画を練っています。水上バスで小豆



沢まで新河岸川を上り、岩淵水門を抜けて荒川で葛西へ向かう「いちにちゆらり旅」は大好評。船の旅もいいですね。

進化を続ける隅田川テラスを是非歩いてみてください。色々な発見があると思います。

東京都公園協会 植村敦子

## 新会員のご紹介

今年度は新たに3人の新入会員を迎えました。自己紹介をお願いし、今号に間に合った方々です。

### 〈永井伸芳さん〉

OBの皆さんの仲間入りをさせていただきました永井伸芳と申します。

第一再開発事務所を皮切りに、交通局、都市整備局、総務局（三宅支庁）、中央卸売市場（新市場整備部）、監査事務局、港湾局、生活



文化スポーツ局と8局でお世話になり、令和6年3月末、スポーツ施設担当部長で退職いたしました。“無事”と書きたい所ですが、34

年間のうち1カ月は病院で寝たきりの刑にも逢い、今でもクラクラすることもありますので良く卒業できたものだと思っております。

現役の頃は、皆さま方から頂く名刺に“建設防災ボランティア協会会員”と記してあるのを拝見し、OBの先輩であると心に刻んだものでした。いざ、自分が退職する際も、真っ先に入会依頼のご連絡を差し上げた次第です。地震でもないのにクラクラすることもあり、大したことはできませんが、“建設防災ボランティア協会会員”の名に恥じぬ様に勤めてまいります。引き続き、ご指導お願い申し上げます。

### 〈岡上 樹さん〉



2022年に、江東治水事務所高潮工事課長で定年退職し、その後2年間、東京都公園協会で防災担当課長を務めておりましたが、2024年4

月より、(株)オリエンタルコンサルタンツにお世話になっております。

公園協会在職中は、防災に関してボランテ

ィア協会にお願いする立場であったため、入会することができませんでしたが、この度、やっと入会を果たすことができました。

「勝どき橋ミニツアー」もお手伝いさせていただきます。皆様よろしく願いいたします。定年退職後は、なんとか休暇をとりながら、現職中に行けなかった京都の桜や紅葉の写真を撮りに行っています。

## 協会からのお知らせ

- ① 今年度の総合防災訓練は、8月30日(金)～9月1日(日)に都立城北中央公園で実施予定です。担当事務所班はよろしくお願い致します。
- ② 各班からの活動報告を心よりお待ちしております。また自己紹介がお済でない新入会員の皆さまも、ぜひ下記編集担当理事又は西村まで原稿をお送りください。

西村アドレス([iwana-246ra@outlook.com](mailto:iwana-246ra@outlook.com))

- ③ 協会のH. P(東京都建設防災ボランティア協会掲示板)に、最新の情報、バックナンバー、建設局報などが載っています。ぜひご覧ください。アドレス(<http://tokyo-adv2.info/>)

パスワードは、「kyokuhou」です。

### \*\*\*編集後記\*\*\*

コロナ禍があけて1年が経ちました。活動も以前の様に活発になってきました。今後も各行事の報告に加え、各班からの投稿や新会員の紹介をあらためてお願いします。目標の年間4号の発行目指しておりますが、そのためには皆様のご協力が不可欠です。本年度もよろしくお願いいたします。

発行人 山口明

発行 東京都建設防災ボランティア協会

新宿区西新宿 2-7-1

小田急第一生命ビル 20F

(公財)東京都道路整備保全公社内

編集 佐野正生、高橋紀男、西村行正、林幹生

